

ところで皆さんロータリークラブの家訓はなん
でしょう。やはり ロータリーの綱領
 四つのテスト
 超我の奉仕

そしてもう一つ、私は「寛容の心」をプラスし
てもよいかと思いますが如何でしょうか。

皆さんの会社やお家では如何ですか、社訓と
か家訓はございますか。あったら機会をみてご
披露をお願い致します。ありがとうございます
た。(2011年11月15日例会場にて高橋 清会員)

ロータリー情報委員会

3分間情報

高橋 進情報委員長

ロータリーEクラブについて

ロータリーEクラブとは、オンラインで例会を開
くロータリークラブです。6年間の試験期間を経
て、2010年7月1日より、ロータリーEクラブは正式
に国際ロータリークラブの加入クラブとなりました。

ロータリーEクラブは、例会をオンラインで開く
ことを除けば基本的に他のロータリークラブとかわ
りません。従来のクラブと同じ指針で手続に従いな
がら、奉仕プロジェクトを実施したり、ロータリー
財団を支援したり、会員間の親睦を楽しんだりしま
す。

身体的事情、地理的事情、仕事のスケジュールな
どの理由で、決まった時間の週例会に行くことがで
きないという事業・専門職・地域のリーダーにとっ
て、Eクラブはロータリークラブ入会の可能性をも
たらず選択肢となります。各ロータリーEクラブは
一つの地区(二クラブまで)に割り当てられますが、
会員は、ロータリーが存在する国や地域なら
どこに住んでいてもかまいません。

例会は毎週1回、24時間、ホームページ上で開催
します。クラブの全ての会務はホームページ上で行
い、各自が1週間以内にホームページに掲載されて
いるロータリーの理念や奉仕活動実践などを閲覧
し、それに対する意見を書き込んだり、自分自身の

体験談や参加した奉仕体験などを書き込むこと
により例会とします。また時には、双方向の討論会
などの形式を伴うこともあります。

基本的にホームページ上でのお互いのコミュニ
ケーションとなりますが、時には親睦のために実
際に顔を合わせての会合を持つこともあります。
奉仕活動の実践は会員が個人的に行うか、あるい
は近隣のロータリークラブの活動に参加するか、
あるいは地区単位で行う大々的な奉仕活動など
に参加することによって行う事と致します。

また、日本国内はもちろん世界中のリアルなロー
タリークラブを自由に訪問することもでき、どの
クラブのロータリアンとも親しく友情を深める事
ができます。

役員・理事は理事メンバーとして活躍すること
となります。理事会は審議機関でありクラブ内
において、最高の自主管理権を持ち、総会を最高の
議決機関とする一般の常識はロータリーに適用さ
れておらず、理事会がすべての議案に関する先議
権を持ち、クラブ事項に関する理事会の決定は最
終決定となります。

名 称: 日本ロータリーEクラブ2650

所属地区: 国際ロータリー第2650地区 (福井滋賀京都奈良)

English official Name: Rotary E-Club of 2650

地 域: ロータリー・クラブが存在する全世界の国・地域
(使用言語: 日本語)

創 立: 2011(平成23)年6月20日

スポンサー: RI第2650地区 大和高田、敦賀、大津東、
福井北 各ロータリークラブ

RI 認証: 2011(平成23)年6月30日

例会日程: 毎週月曜日(1200) ~ 次週月曜日(12:00)

例会会場: Webページ上 <http://rotaryclub2650japan.org/>



小菅正彦会員

妻の誕生祝い ありがとうございます。



ロータリーの実践倫理

「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

《会報・IT・雑誌
・広報委員会》

委員長: 伊藤 嗣迪
委員: 平田 洋一

副委員長: 大川 隆永
委員: 高崎 卓哉

社会奉仕基金
4,603円

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2790地区第12分区
松戸北ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 国際ロータリー・テーマ

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1894回 例会 (第 19 週) 2011年11月15日(火)

国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー
第2790地区ガバナー 山田修平
第12分区ガバナー補佐 安井克一
松戸北ロータリークラブ会長 鈴木悦朗
松戸北ロータリークラブ幹事 兎山守治

例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ボウル1F
事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内
TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696
Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけてよう

会長 鈴木悦朗

皆さんこんにちは。
今日は11月15日、七五三の日です。
また幕末の志士坂本龍馬(1835-1867)の誕生日でもあり、ご命日でもあります。今年で145回忌となります。昨年のNHKの大河ドラマ「龍馬伝」や「坂の上の雲」などのヒットをきっかけに、また3月11日の大震災もあって連続ドラマ「カーネーション」またフェイスブック等のソーシャルメディアでも、古きよき時代の志のある日本人、家訓、名言を振り返ってみよう見直そうという風潮がでてきました。

今日はロータリー情報委員会の高橋進委員長にEクラブのお話、またメインの卓話は、当クラブ理事の高橋清さんに東都のれん会の老舗の家訓から学ぶというテーマのお話をいただきます。また昨日は第12分区の会長・幹事会があり、2月8日(水)予定のIMについての協議を行いました。詳細についてはまだ決まっておりますが、ご予約をあけておいてください。

坂本龍馬

龍馬は天保6年(1835)年11月15日、土佐国(高知県)に生まれ、1856年(安政3)8月、江戸に出て剣技を磨き、剣士として知られ、北辰一刀流の免許を得、1861年(文久1)8月土佐勤王党が結成されるやこれに加盟。海外事情に詳しい絵師河田小龍の通商航海論に共鳴していた龍馬は、江戸で異色の幕臣勝海舟を訪い、その見識に感激して入門、単純な攘夷(じょうい)論を捨て、航海術を修業し、勝の信頼を受け、勝を補佐して活動した。1863年には、勝の主唱による神戸海軍操練所の設立に東奔西走、10月その塾頭となったが、1864年(元治1)10月には勝の突然の失脚によって、操練所は解散された。この間、龍馬は松平春嶽(しゅんがく)慶永(よしなが)横井小楠、三岡八郎、由利公正、大久保一翁(忠寛)ら開明の人士らの知遇を得、西郷隆盛とも知り合った。

操練所解散後、龍馬は薩摩藩の保護を受け1865年(慶応1)、5月ごろ同志を率いて長崎に商社「亀山社中」を設けて通商航海業に乗り出し、これを媒体として倒幕のため薩長2藩を同盟させる運動に奔走、中岡慎太郎と協力して翌1866年1月20日には京都で薩長同盟を成立させた。その直後の23日、伏見(ふしみ)寺田屋で幕吏の襲撃を受け、寺田屋の養女お龍(りょう)の機転で危うく難を免れ、お龍と結婚した。薩長同盟の成立は幕府の長州再征を失敗に導いた。

1866年土佐藩が貿易のため長崎に設けた土佐商会に出張してきた参政後藤象二郎と龍馬は翌1867年1月に会談。山内容堂の公武合体路線の行き詰まりから方向転換を求めていた土佐藩は、龍馬と中岡慎太郎の脱藩の罪を許し、龍馬は海援隊長、中岡は陸援隊長となった。6月、後藤とともに藩船で京都に向かう船中で龍馬は、大政奉還、公議政治などの新国家構想をいわゆる「船中八策」としてまとめたが、これが土佐藩論を動かし、10月山内容堂は將軍徳川慶喜に大政奉還を建白、慶喜はこれをいれて朝廷に奉還を上奏、朝廷は10月15日これを許可し大政奉還は実現した。その後も龍馬は土佐、長崎、福井などを奔走、新政府の構想を練っていたが、11月15日夜、京都の下宿近江屋(おうみや)で中岡慎太郎と会談中、幕府見廻組に襲われて亡くなりました。

 幹事報告：児山守治

1. 国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー「深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたいのです。」
2. 2790地区5年間の会員数報告
当クラブは2007年から39名・40名・39名・40名・35名となっております。

卓話

「家訓と口伝が商いの宝」



高橋 清 会員

ご覧になった方もあると思いますが、11月8日付 日本経済新聞に東都のれん会会長 榮太楼総本舗六代目細田安兵衛氏による上記 見出しによる、非常に参考になる記事がありましたので、私なりに整理をしてご披露いたします。

東京で100年以上の53店で作る東都のれん会は呉服・日本料理・履物など衣食住の様々な業種の集まり、江戸からの伝統を今に伝えようと励む店主や女将にとって大きな心のよりどころになっているようで、年に数回 親睦会を開催して、各店がそれぞれの家訓や心の教をを披露して、商いの理念を学びあっているという内容です。そのいくつかから紹介されておりますので、当クラブの会員の皆様もぜひそれを味わってみてください。

まず 細田会長は各店はなぜ「老舗」と呼ばれるまでに長年にわたって「のれん」を守ってきたのか、それは秘伝の味や製法を受け継ぐという技術的なことはもとより、先祖代々の心の教を大切にしてきたからだと思ふと述べ、どのような心構えで商品をつくるか、お客様と日々どんな気持ちで接するのか、いわゆる家訓や商いの心得とされるものだが、各時代の店主が世の流れにあわせて教訓を重ね、大きな財産にしてきた、とも語っております。

家訓・口伝の例

「細くとも長く 続けること」・ 榎枝のさるや

「誠実に生き、多くの人々に貢献をする」

・ うちわ・扇子の伊場仙

「諸芸を知らずとも恥じならず。家業を大切に精を入れ、おごりを禁じ云々」(目の届かないところにまで商売を広げて品質を落とすてはならない、本業に専念しろいう教えであろう) ・ かつお節のにんべん

「ハイという、素直な心。すいませんという反省の心。お陰様という謙虚な心。私がいまですという奉仕の心。ありがとうという感謝の心。」 ・ 江戸前佃煮の海老屋総本舗

「味は親切にあり」(不親切な心で作られ売られる菓子は、どんなに原料を吟味しようが、高度な技術を用いようが、まずい菓子であると戒めている) ・ 榮太楼総本舗

「伝統とは革新の連続である」(のれんをただ守り続けるだけでは「古くさい」になってしまう。祖業の大切な核を残しつつ時代に合わせて新味を加えてこそ、のれんはいっそう輝くという教え) ・ 山本海苔店、山本泰介

そして細田会長は、特に前記の山本泰介さんの言葉を心に刻んで、伝統をコケに例えて「日照りの時は水をやり、寒い時は霜よけをかぶせる。いつも手入れをするからコケは美しい」と若い人達に話しているそうです。

又、今、若い後継者が積極的にインターネット販売に乗り出しているが、それも大事だが、やはり対面販売が基本だと感じており伝統の味を楽しんでもらうだけでなく、私たちが代々受け継いできたものづくりの心や感謝の心もお客様に感じていただければ、と思っているそうです。

(次のページにつづく)



ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。